

共同テーブル
12.14
第13回シンポ

「新しい戦前にさせない」連続シンポジウム

石破政権に抗して 「国の安全保障」から 「命の安全保障」へ

戦禍の世界のなかの平和憲法を考える

日時 **12月14日(土)**
13時30分～16時30分 (13時開場)

会場 **文京区民センター・2階
2A会議室** (☎03-3814-6731)

東京メトロ・丸の内線・後楽園駅・「4b」出口徒歩5分
都営・三田線・春日駅・「A2」出口徒歩1分

主催 共同テーブル 資料代 1000円

プログラム

- 開会
- 挨拶 発起人を代表して 佐高 信 (評論家)
- 講演

清水雅彦 (日本体育大学教授)

「日本の与野党の9条・安全保障論」

木戸衛一 (大阪大学大学院招聘教授)

「ドイツ・欧州から見た〈平和〉と〈安全〉」

南 基正 (ソウル大学教授・日本研究所所長)

「朝鮮半島の平和と韓国の軍事状況」

- シンポジウム

コーディネーター 杉浦ひとみ (弁護士)

パネリスト 清水雅彦、木戸衛一、南基正

- 参加者からの質疑
- まとめと閉会挨拶

ウクライナ、パレスチナ「戦争」は終わらず、米中対立でアジアの緊張も激化しています。「安保・防衛」重点の石破政権に対抗する野党の明快な反戦・平和の政策が求められています。そこで、あらためて平和憲法の役割を考え合ひましょう。

20世紀は「戦争の世紀」と言われながらも、「戦争の違法化」が進められてきました。第1次世界大戦後の国際連盟規約(1919年)で侵略戦争の制限を、不戦条約(1928年)で侵略戦争の放棄を試みました。しかし、「自衛」の名の下に侵略戦争が行われたので、第2次世界大戦後に国連憲章(1945年)によって「自衛戦争」をも制限しました。にもかかわらず、再び戦禍と軍事緊張が広がっています。

このような時、憲法の平和主義の役割は何か。9条1項で「自衛戦争」をも放棄し、2項で軍隊の保持を認めていません。「非戦・非武装」のほずです。「非武装」は不安かもしませんが、世界には26の「軍隊のない国家」があり、他国から攻められていません。そこで、今こそ平和憲法の実現に向けてどうするか、検討していきましょう。

私たちは、今回に続き、②武器移転など「死の商人国家」化、③非武装中立を求める運動をテーマに、3回の連続シンポジウムを開催します。



佐高 信



清水雅彦



木戸衛一



杉浦ひとみ



南 基正

申込先 多くの参加者が見込まれます。定員(250名)になり次第、申込を締め切りますので、大変恐縮ですが、至急、下記のメールアドレスまで、出席申し込みをお願いします。

E-mail : e43k12y@yahoo.co.jp

共同テーブル連絡先： 藤田高景 090-8808-5000 / 石河康国 090-6044-5729

「新しい戦前にさせない」共同テーブル・アピール

暮らし(いのちき)は武器で守れない

暮らしを大分では(いのちき)と呼ぶ。いのちを連想させる味わい深い方言である。政府は憲法9条を捨てて軍備拡大に踏み出そうとしているが、それは生命を削り、暮らしを壊す道である。暮らしと軍拡は両立しない。戦火の消えないアフガニスタンで、中村哲さんは井戸を掘り、暮らしを建て直して平和を築こうとした。憲法9条を持つ日本の中村哲さんはそれまでフリーパスでアフガンを歩くことができた。しかし、イラクへの自衛隊派遣が、その平和のパスポートを奪う。だから、哲さんは国会で「自衛隊派遣は有害無益」と訴えた。軍隊が国民を守らないことは旧満州や沖縄の例で明らかである。

軍備に頼らない平和を求めるために、私たちは「安保三文書」を徹底批判する。暮らし(いのちき)か、軍拡か。三橋敏雄という俳人は「過ちは繰り返します秋の暮」と詠んだが、私たちは愚かな軍拡の道を選ばない。

2023年春

共同テーブル発起人

浅井基文(元広島平和研究所所長・政治学者) 安積遊歩(ピアカウンセラー) 雨宮処凛(作家・活動家)
植野妙実子(中央大学教授・憲法学) 上原公子(元国立市長) 大口昭彦(弁護士・救援連絡センター運営委員)
海渡雄一(弁護士) 鎌倉孝夫(埼玉大学名誉教授) 鎌田 慧(ルポライター) 金城 実(彫刻家)
瀧川 厚(山口大名誉教授・歴史学者) 古今亭菊千代(落語家) 佐高 信(評論家) 清水雅彦(日体大教授・憲法学)
白石 孝(NPO法人官製ワーキングプア研究会理事長) 杉浦ひとみ(弁護士) 竹信三恵子(和光大名誉教授・ジャーナリスト)
田中優子(前法政大学総長) 鳥井一平(全統一労働組合・中小労組政策ネットワーク) 古田兼裕(弁護士) 前田 朗(朝鮮大学校講師) 宮子あずさ(随筆家) 室井佑月(小説家・タレント) 山城博治(沖縄平和運動センター顧問)

「共同テーブル」はこれから多彩なテーマとパネリストで、連続シンポを企画していきます
共同テーブルHPに、賛同申し込み書式があります。それに記入していただければご案内をメールでさしあげます。